社会医療法人財団　白十字会　白十字病院　臨床検査技術部　発行

白川郷

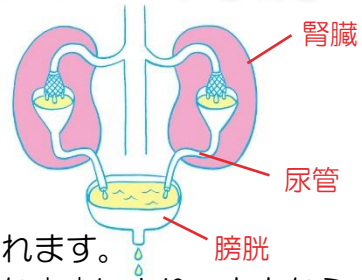
臨床検査日和

秋号

臨床検査日和　第９号　２０１６年　１０月

検査のおはなし　Vol.8

尿検査で何を調べていますか？



健康診断などでみなさん一度は受けたことがある検査だと思います。
そんな身近な尿検査でどのようなことを調べているのかを紹介します。
尿は、身体に不要な物質を体外へ排出するために腎臓で作られます。
腎臓で作られた尿は、尿管を通って膀胱に集められ、尿道を通じて排泄されます。
通常は、身体に不要な成分と水分が尿として体外に排泄されますが、様々な疾病により、本来ならば尿中に含まれるはずのないものが混ざることがあります。
尿検査では、これらをチェックしています。
尿を用いる検査は大きく分けて４つあり、健診などで行っているのは尿一般検査です。尿一般検査で異常がみられたり、何か症状がある場合にその他の検査が実施されます。

1. 尿一般検査

【蛋白】
腎炎、ネフローゼ症候群など腎臓に異常がある場合に陽性となります。ただし健常者でも運動後などに陽性となることがあります。

【糖】
糖尿病など血液中の糖が高い場合に陽性となります。その他血糖値は高くないのに腎臓の異常により陽性となる場合もあります。

【ケトン体】
脂肪の代謝によって作られる物質です。下痢、嘔吐、糖尿病などで陽性となります。

【潜血】
尿中に血液が混じっていないかを調べています。陽性の場合、腎炎、膀胱炎、結石などによる出血が疑われます。激しい運動後に陽性となることもあります。

【尿沈渣】
尿中に含まれる赤血球や白血球、細胞、結晶成分などを顕微鏡で観察し、腎臓や膀胱などの異常の診断や病状の経過観察を行います。

2. 尿生化学検査

クレアチニンや蛋白質、糖など尿中の化学成分量を調べています。

3. 微生物検査

膀胱や尿道などの細菌感染が疑われる場合、細菌の有無や種類を調べています。

4. 細胞診検査

顕微鏡で尿中に悪性細胞などがないかを調べています。

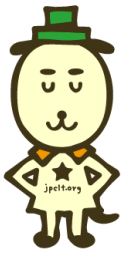
☆★Topics★☆

１１月１１日は臨床検査の日です！

臨床検査振興協議会は、
11月11日を臨床検査の日と制定し、
国民の皆さんに、臨床検査が、
病気の早期発見や早期治療に
つながる有用なものであることを
広く知っていただくために
広報活動をスタートしました。

臨床検査で不可欠な＋（プラス）,－（マイナス）を組み合わせた十一月十一日を臨床検査の日としました。

可愛いマスコット♪

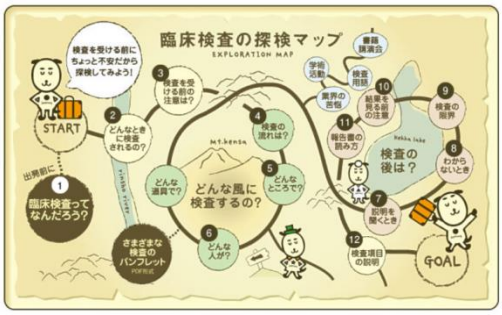


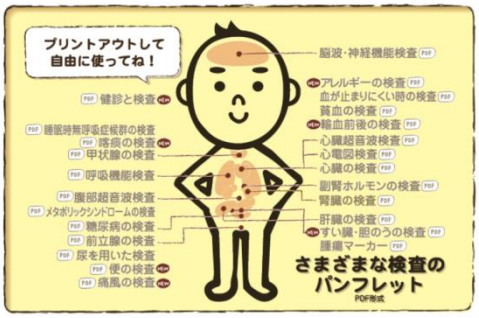
りんしょう犬さん

PROFILE

「りんしょう犬さん」は臨床検査振興協議会から広報活動の特命を受けたスーパードッグ。安心できる医療の構築に必要な信頼できる臨床検査を提供するシステムを親しみやすく紹介します。

臨床検査振興協議会のホームページでは、臨床検査についての様々な疑問に対するお答えや、臨床検査の種類や内容について分かりやすく説明しています。この機会にホームページを覗いて、臨床検査について知っていただけると嬉しいです！





検索してみてね！

http://www.jpclt.org/

臨床検査振興協議会
みんなの臨床検査
検査で守るあなたの健康

KENSA Q&A

Q. 何本も採血されて貧血になりませんか？

A. 人間の血液量は体重の 7～8%です。体重 50ｋｇの場合は約 3,500 から 4,000mL の血液が体内を流れています。
また、人間の血液は毎日 30mL 程度つくられています。
採血管の種類にもよりますが、1 本が 2mL から 4mL で、本数が多くても 20mL 程度の採血量です。
この採血量で貧血になることはありませんので安心してください。

（採血担当　尾上）

＊発行元＊　社会医療法人財団 白十字会 白十字病院 臨床検査技術部
〒819-8511　福岡市西区石丸３－２－１　Tel. 092-891-2511（代）